



輝け 岡野っ子

岡野小・幼稚園
学校・園だより
2月号

私の1. 17 ～阪神・淡路大震災から30年～

今から30年前の1995年1月17日の早朝、阪神・淡路大地震（最大震度7）が occurred。当時、私は中学校に勤務して4年目を迎えていました。その日は丹波地区では震度4の揺れで、5時46分に目覚めました。当時、中学校では早朝マラソンの練習を学校全体で行っており、生徒たちは学校に来ると「朝、地震やったなあ。結構揺れて怖かったなあ」と友達同士で会話をしながら、マラソン練習を行っていました。しかし、朝のマラソン練習時にも余震が何回もあり、普段感じたことのないような恐怖をおぼえました。練習後、私は職員室に戻り、テレビに映し出された映像を見て、愕然としました。高速道路が倒れ、神戸の街のいたるところで建物が倒壊した映像が流れてきました。そして、時間が経つにつれてテレビ画面からは火災が広がり、戦争でも起こったのかと思うほどの光景が映し出されていました。私は、担任していた学級で授業を中断して、教室内のテレビをつけました。生徒たちは驚くとともに、親せきや知人・家族の心配をし始めました。私の兄も芦屋市に住んでいましたが、連絡がしばらくつきませんでした。あとから分かったことですが、住んでいた建物が倒壊しましたが、何とか逃げ出したそうです。

地震から数日後、私は教職員の仲間とともに、神戸市の長田区にある駒ヶ林中学校にボランティアとして行きました。多くの学校が避難所になっている中で、駒ヶ林中学校も避難所になっており、たくさんの方でございました。自衛隊の方々とともに1日中水汲みを行っていました。そして数日間学校の廊下で寝泊まりしながら、ボランティア活動を続けました。活動中何回も余震が神戸の街を襲い、頑丈な校舎でさえ「ギシ、ギシ」という音で、眠ることができませんでした。阪神・淡路大震災では6434人の方々が犠牲になりました。あれから30年、街は復興を遂げました。美しい街に生まれ変わりました。しかし、この間にも日本では大きな地震が何回か起こっています。私たちは、未来のある子どもたちのためにも、この教訓を忘れてはなりません。そして、次世代へ伝えていかなければなりません。

1. 17メモリアル集会では、全校生で黙祷をした後、玉井人幸さんにご来校いただき、当時の様子を含め、多くの教訓をお話いただきました。これから私たちが生きていく上で、大切なものがいっぱい、いっぱいあった大変貴重なお話でした。保護者の方々それぞれに「私の1. 17」があり、その中には必ず大切な教訓があります。保護者の皆様も、30年前の様子をぜひ、ご家庭で伝えてください。



（校長：足立貞治）

ぞうきんがけリレー（全校生）

学校ピカピカ委員会の提案で、1月20日（月）の全校朝会時に「ぞうきんがけリレー」をおこないました。普段から毎日15分間の掃除を頑張っていますが、自分たちの手で美しい環境をつくっていかこうとする取り組みの一環として委員会の皆さんが提案してくれました。



これからも校内を美しく保つとともに、一人一人の心がピカピカになるよう願っています。

やきいも🍠大会～おいしかった～ 農業委員の皆様へ感謝！

1学期に、さつまいもの苗つけをし、2学期に収穫しました。また、3学期にはやきいも大会をして、おいしくいただきました。このような活動ができたのは、農業委員のみなさんが、計画して支援していただいたおかげです。本当にありがとうございました。



国語科研究発表会開催

1月24日（金）に、本校で国語科の学力向上（活用・表現力の向上）についての研究発表会が開催されました。本校は、計5年間、国語科を中心として学力の向上に向けて研究に取り組んできました。この取り組みは、兵庫県教育委員会や丹波篠山市教育委員会のご支援並びにご指導をいただきながら取り組んでまいりました。特に複数の資料や友達の意見をもとに自分の考えを深め表現する力の育成に取り組んでまいりました。研究会当日は、2年生・3年生・5年生の公開授業も行われ、県下各地から多くの先生方が来校されました。また、1年生・4年生・6年生も1学期や2学期に校内研究として授業を行いました。岡野小学校の先生方のチームワークも深まりました。

第3回岡野幼・小学校運営協議会

2月5日（水）に本年度、第3回岡野幼・小学校運営協議会が開催されました。今回の内容は、学校の学習面や生活面の報告をし、また先日お世話になりました学校評価から、学校運営に関して様々なご意見をいただきました。委員の皆様におかれましては貴重なご意見をいただき、誠にありがとうございました。保護者の皆様はもちろんのこと、地域の皆様のご協力により、園児・児童たちが素晴らしい体験をさせていただきましたことに厚くお礼申し上げます。